

## 鳥羽在住 李さん随筆集

## 外国人から見た海女伝えたい

鳥羽市安楽島町在住の中国人で中日写真協会員の李相海さん(リシヤン)が、伊勢志摩地域の海女を五年間にわたって取材した記録をまとめた写真入りエッセー集「現代の海女 伊勢志摩の海女に魅せられて」を自費出版した。

(中谷秀樹)

李さんは一九九八年に三重大への留学で来日し、卒業後の二〇〇七年から市内ホテルで国際担当社員として勤務している。入社後に離島の神島を訪れた時、島をモデルにした映画「潮騒」に出演した山口百恵さんの磯着姿のパネル写真を見て海女文化に興味を持った。

「子どものころ中国で山口百恵さんが大人気で、ドラマを見て自分も大ファンだったので気になった」。一〇年ごろから各地の磯場に足を運んで撮影や取材を続け、最近の海女の減少を憂いながら「外国人の自分が見てきた海女を伝えたい」

## 写真とともに紹介「未来まで残って」

との思いで自費出版を決めた。

国崎町の伝統行事でわら舟を海に流す「ノット正月」や志摩市志摩町和具の海水を掛け合う「潮かけ祭り」など、各地に伝わる祭礼や海女との交流のやりとりを写真とともに紹介している。李さんは「今の発展した時代に素潜り漁が残っているのは感動的なこと。未来まで残ってほしい」と話している。

エッセー集はA5判、百二ページで千二百円(税別)。インターネット通販サイト「アマゾン」で購入できる。  
 発行元の青山ライフ出版 03(6683)8252

